

平成 2 1 年度局配分枠予算について

理 財 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

理財局においては、財政運営、市税の賦課徴収、公有財産の管理、物品等の調達など、経常かつ市政の運営上必要不可欠な事務を所管しており、限られた財源の範囲で、より円滑な行政サービスや市税徴収体制の強化につなげることを念頭において予算を編成した。

具体的な取組としては、新地方公会計制度への対応や本市が保有する資産の有効活用を図るものとして、新たなシステムの開発に着手する。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

新公有財産管理システム開発 50,550 千円

平成 2 1 年度局配分枠予算について

会 計 室

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

会計室は、会計管理者の補助組織として金銭会計事務及び物品会計事務を所管している。また京都市行政業務情報システムの基幹である財務会計システムの運用・管理も行っている。

今年度の予算編成においては、財務会計システムの運用経費として、財務会計システムの本体機器のリース更新に伴う OS・ミドルウェアのバージョンアップ等を予定している。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<充実事業>

財務会計システム運用 全体事業費 135,900 千円（うち充実分 88,000 千円）